

意識をカイカク。男女でサンカク。 社会をヘンカク。



毎年6月23日～29日の1週間は、男女共同参画週間です。6月16日(木)、男女共同参画週間オープニングセレモニーが市役所玄関前で行われました。セレモニーでは、市男女共同参画行政地域連絡会による、もしも桃太郎が女の子だったら?というストーリーの紙芝居「桃子のメッセージ」が披露されました。また、週間中は市役所ロビーや市内施設にてパネル展が開催されました。

自治会に加入して安心な暮らしを!



6月1日(水)、「自治会加入促進強化月間パレード出発式」が開催されました。出発式後のパレードでは、市内各自治会長らが20台の車に分乗し、市内を一周しながら自治会への加入を呼びかけました。また、6月1日から17日において、市役所ロビーでは全自治会の活動を紹介するパネル展も行われました。

県多文化共生モデル事業 英語通訳コーディネーター配置



市役所内に英語通訳コーディネーターが配置されています。日本語でのコミュニケーションが困難な外国人市民へ行政手続きをスムーズに行う通訳サポートを行い、職員と外国人市民との架け橋となります!!

○配置期間: 5月9日～平成29年2月15日
毎週月・水・木曜日の午前10時～午後3時

訪米要請行動報告会



6月10日(金)、中央公民館において約150名の市民が参加する中、訪米要請行動の概要とその成果について報告が行なわれました。佐喜眞市長は「普天間飛行場を抱える本市の現状を直接伝える事ができ、多くの成果をあげることが出来た。今後の返還へさらに取り組んでいく」と決意を述べました。また、普天間飛行場返還後の跡地利用についてのプロモーションビデオも上映されました。

「じゃ口から 安心とどけ 未来まで」



毎年6月1日～7日は「水道週間」です。水道の仕組みや現状、課題について市民の理解と関心を高め、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図るための週間です。市水道局でも、市役所入り口などにおいて、チラシ入りのティッシュを配布し、市民への啓蒙・周知活動を行いました。

有限会社沖縄グリーン工業から寄付



6月13日(月)、有限会社沖縄グリーン工業(前田勝也代表取締役)が市役所を訪れ、市への寄付金を佐喜眞市長へ贈呈しました。前田代表取締役は「市のために役立ててほしい」と話しました。同社は、下水道や倉浜衛生施設で市の事業と深い関わりがあり、リサイクル事業にも注力しています。